

「集団」を「道具」として治療に活用する

# さんやまち

発足！

「さんやまち」は、「**集団**」を「治療道具」として捉え、「**個**」を大事にしながら、環境を上手に活用し、「**集団**」をツールとして利用し、介入する。そしてその介入でどのような効果を得るか、それを判定するためにはどのような評価方法があるのか、を皆さんで考えていこう！という会です。

「木を見て森を見ず」⇒ 物事の一部や細部に気を取られ、全体を見失うこと。

・・・でも1本ずつの「**木**」を特性を知ること、その**森**の良さを改めて実感できる瞬間がありますよね。

「**木=個**」に気配りしながら全体の見通しを立てると「**森=全体**」の見え方が変わります。

「**個**」を見ることができなければ「**集団**」を扱うことができない。

「**集団**」を扱うには「**個**」の特性を把握しなければならない。

「**集団**」を学ぶことで、「**個**」への対応にもより気配りができるようになる。

これは領域を問わず、作業療法士が対象となる方と接する上では非常に大切なことです。

皆さん、「さんやまち」で一緒に楽しみませんか？

さんやまち

代表 江渡 義晃

ちなみに…

さんやまち(三夜待)とは…？

地域の住民が集まり、月の出を待ち飲食や話をして強い絆で結ばれる行事。

佐賀県大町町で今でも行われている行事です。

そこから、治療道具として「**集団**」を活用出来るように、楽しみながら話が出来る勉強会にしたいとの思いで名付けました。

3の倍数月(3月、6月、9月、12月)の第一金曜、19時頃から90~120分間で開催します。会場はその都度決定します。

内容は、事例(グループ)検討、文献抄読、テーマ討議等を予定しています。

「さんやまち」会員は参加費無料(年会費1,000円)、非会員は1回の参加につき500円徴収致します。

(一社)日本作業療法士協会SIG認定を受けています。参加に伴い生涯教育基礎コースポイント給付対象となります。

問い合わせ先：事務局 佐々木 絵里

医療法人清心会 服巻医院 Fax 0955(72)2359

メールアドレス sanyamachi\_2016@yahoo.co.jp